

感謝される喜びを自らの原動力に。

岐阜市に本店を構える「ぎふ農業協同組合（JAぎふ）」の特例子会社「株式会社JAぎふはっぴいまる」で働く松本さん。「ぎふ農業協同組合」での3年間の勤務を経て、2019年に現職に転籍。現在はJAぎふ業務応援の一つである清掃を担当しており、本店・ビルの食堂やトイレを中心に床の掃き掃除やモップがけ、水まわりの清掃などを行っています。他のメンバーが休みのときには、瓶・缶・ペットボトルを回収するなど、臨機応変に対応。上司や仲間と相談し、互いに協力し合いながら働いています。他にも2週間に1回、みそ事業にも参加。JAぎふの直売所では入荷待ちになることもあるという人気商品、無添加手作りみその「まめなかな味噌」を製造・販売しています。

この職場でやりがいを感じるのには、本場で働く職員から仕事ぶりを褒められたとき、「実際にトイレを

利用された方から「トイレがいつもピカピカだね」と声をかけてもらったときはとてもうれしく、いつも増して仕事に対するやる気が出たことを覚えています」と松本さん。また、一緒に働く仲間がそれぞれの持ち場を率先してきれいにしている姿を見たときや、仲間からアドバイスをもらったときには「私をもっと頑張ろう」というポジティブな気持ちが生えるそう。どんなときでも仕事に対して真摯に取り組み、自分でできる最大限の努力をする松本さんの周りには、頑張りを認めてくれる人たちがたくさんいます。そんな仲間の支えもあり、毎日前向きに楽しく働くことができます。

プライベートでは月に2回ほど、岐阜市の「社会福祉法人舟伏」が運営する「アサポートグループ」の「ほっと♡ほっと」に参加。松本さんにとって、心がホッと落ち着ける癒やしの場所となっています。



株式会社JAぎふ はっぴいまる 松本 広美さん

始業前のわずかな時間や休憩中に趣味のクロスステッチをすることが楽しみの一つ。健康的な体づくりのために、職場の仲間とノルディックウォーキングにも励んでいます。



1日のスケジュール

- 09:30 始業
掃き掃除、モップがけ
- 10:00 トイレ掃除
- 12:00 昼食
- 13:00 昼礼
- 13:30 トイレとシンクの掃除、皿のつけ置き、生ごみ捨て、タオル干し など
- 15:30 帰宅



JAぎふ本店の1階ロビーでは、LED人工照明を照らして苗を育てています。毎週水曜日には社員全員で種まきを行い、大きくなるように水やり。成長した苗はおんさい広場の真正店で販売しています。



Company Voice



株式会社JAぎふ
はっぴいまるけ

統括部長 **高橋 玲司**さん

”適材適所”ではなく、
”適所適材”で特性を生かす。

障がい者と健常者が共生する社会の実現を目指して設立されたのが『株式会社JAぎふはっぴいまるけ』です。2020年の設立から2年後には「ノウフク・アワード2021」のフレッシュ賞を受賞し、特例子会社では全国初の快挙となりました。現在こちらには、19名の障がい者が在籍しており、主にJAぎふからの委託業務を行っています。

松本さんを雇用したのは「清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ」の紹介がきっかけ。そこから10日間の障がい者チャレンジトレーニング（実習）と半年間のトライアル雇用を経て、入社してもらうことになりました。会社の都合でJAから転籍してもらったことには申し訳なさを感じているんです。だからこそ、この会社で良かったと思ってもらえるよう



保護者面談を行い、親御さんとも交流を図るようにしています。他にも、月1回以上の個人面談の実施や関係支援団体と密な連携を図るなど、安心して働けるような工夫をしています。

私は、障がいはい無二の個性であり、人それぞれに合った働き方があると思っています。その人の個性を最大限に発揮してもらうため、管理者である私たちには、適所適材はもちろん、才能や体調の変化なども見極める責任があると考えています。松本さんをみそ事業に抜擢したのは、手先の器用さや自分で考えて行動する姿勢を見て、この仕事に向いていると判断したからです。みそを決められた重さに計量できる正確さを武器に、現場で大活躍してくれています。また、松本さんの物腰柔らかな性格は周りの人を笑顔にし、職場の雰囲気明るくしてくれるので、今ではこの会社に欠かせない存在です。



最初、障がい者雇用を始めるのに勇気がいるかもしれません。しかし、雇用する側が多様性を受け入れる意識を持ち、障がい者に寄り添うことで、企業として新たな一歩を踏み出せるのではないかと思います。



株式会社JAぎふ はっぴいまるけ

〒500-8076
岐阜県岐阜市司町37(ぎふ農業協同組合内)
[TEL] 058-265-3521
[FAX] 058-265-3572
[URL] <http://happymaruke.jp>

one more step



働く障がい者に寄り添うピアグループ「ほっと♡ワーカーズ」

『ほっと♡ワーカーズ』は、「清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ」に登録している障がい者で活動しているピアグループです。統合失調症や不安障害などの精神障がいを抱える仲間との交流や就職を考えている方、企業、関係機関、一般の方に向けたリカバリストoriesの発信などを行っています。



いつも和気あいあいとした
雰囲気です活動しています



自分にとってグループが
どんな場所なのかを話し合いました

みんなの声

互いに支え励まし合える、
自分が落ち込んだときに
元気がもらえる場所です。
仲間がいるので自分も仕事を
頑張ろうと思えます。

みんながいろいろな
アドバイスをくれるので、
自分にはない視点を
吸収することができます。

悩みを解決できたり、
新たな目標を見つける
きっかけになったりするので、
自分にとって大切な場所だと
感じています。



社会福祉法人 舟伏 清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ

〒502-8503
岐阜市学園町2丁目33番地(岐阜県障がい者総合就労支援センター内)
[TEL] 058-215-8248 [FAX] 058-215-8029
[URL] <http://www.funabuse.or.jp>
[開所時間] 月曜～金曜 8:30～17:00



…今の自分にできる最大限の力を発揮。

岐阜県羽島郡岐南町に本社を置き、県内に19店舗を展開する『岐阜トヨペット株式会社』。その恵那店でサービスエンジニアのサポートとして働いている伊藤さん。自動車に関する知識や車両整備の経験はなかったそうですが、5日間の障がい者チャレンジトレーニング(実習)を経て入社を決意しました。業務は車内清掃や洗車サービスなどの納車準備やタイヤの空気圧・残り溝の確認などの点検、タイヤ交換など多岐にわたります。その中でも特に好きな作業は、ガラスコーティングの液体を塗って拭き上げる「フロントウインドガラスコーティング」の施工。入社した当初は、液剤をきれいに拭き取ることができず難しさを感じていましたが、先輩の様子を見て字ぶごで克服。丁寧な仕事ぶりが評価され、一人で任されるまでに成長しました。より一層責任感が芽生え、やりがいを感じながら仕事

に取り組んでいます。今ではかなり仕事に慣れてきて、周りがよく見えるようになったという伊藤さん。入社当初は指示されてから動いていましたが、最近は、車両が工場に運ばれてきたと同時に動き出すことができているそう。仕事の向き合い方で大切にしているという、1手2手先を考えて行動することを実践する余裕も生まれています。また、「もっとやってみたい!」と意欲的に学ぶ姿勢もピカイチ。わずかな時間を見つけては、先輩に車両整備について気になることを質問し、知識の幅を着実に増やしています。「優しく声を掛けてくれる社員の方々に囲まれて、平穩な毎日を送ることができています。今の幸せを忘れずにこれからも頑張っていきたいです」と伊藤さん。自分らしく生き生きと働ける職場の存在が、彼の原動力になっています。



岐阜トヨペット株式会社 恵那店

第3営業部 サポート 伊藤 真二さん

うつ病を発症するも、就労支援を受け社会復帰。現在は入社2年目でエンジニアのサポートを担当しています。趣味はパソコンで映画やアニメ、YouTube動画を鑑賞すること。



1日のスケジュール

- 09:00 始業・朝礼
トイレ掃除、作業服のクリーニング準備、工場のモップがけ、敷地内のゴミ拾い
- 09:30 開店
点検や洗車、タイヤ交換 など
- 12:00 昼食
- 13:00 点検や洗車、
タイヤ交換 など
- 17:00 片付け
- 17:30 帰宅



タイヤの空気圧と残り溝の確認は安全走行のために必要不可欠。常にしっかりと点検を行っています。11~12月、2~3月はタイヤ交換のラッシュ時期。1日に20台分の交換をする時もあり、まさに体力勝負です。





岐阜トヨペット株式会社 恵那店
サービスマネジャー
小嶋 利充さん

障がい者の方も、 一般社員と同じ貴重な戦力の一人。

私たち『岐阜トヨペット株式会社』では、トヨタ、レクサスの新車や中古車の販売、点検や修理などのメンテナンスを行っています。また、2018年より「食育事業」をスタート。農園の近隣にある小学校や放課後等デイサービスに通う児童を対象に農業体験を行うことで、豊かな自然と食の大切さを子どもたちに伝えています。他にはCO₂削減、水質検査、廃棄物対策などの環境保全や地域社会貢献活動にも力を入れ、地域の方々と地球に優しい暮らしを送るための取り組みをしています。



伊藤さんを雇用したのは、サポートエンジニアの求人を出した際にハローワークを通して応募があったことがきっかけでした。この店舗では障がい者の方は働いていなかったため、本人とどう接したらよいのか正直戸惑いましたが、実際にお会いしたらそんな悩みは一瞬で吹き飛びました。まず、5日間の障がい者チャレンジトレーニング（実習）を行い、サービスエンジニアが整備した車の拭き上げを体験しても

らったのですが、とにかく真面目で仕事ぶりも丁寧。これなら安心して任せられると思い、採用に至りました。入社して1年が経った今も、彼の真面目さには驚かされてばかりです。店にはお客様との予約が書かれたスケジュール表が置いてあるのですが、伊藤さんはその内容を前日から把握して、預かりタイヤの空気圧点検などできることを先に進めておいてくれるんです。こちらが何も言わなくても、自分に今できることは何かを考え、率先して行動してくれるので、現場の業務効率が上がって本当に助かっています。

今や障がい者の方も企業の成長に欠かせない大切な存在です。もし雇用の際に心配がある場合は、障がい者チャレンジトレーニング（実習）をぜひ活用してみてください。仕事への適性を知ること、双方の不安を事前に解消することができますよ。



岐阜トヨペット株式会社 恵那店

〒509-7201
恵那市大井町字雀子ヶ根2087
[TEL] 0573-25-5231
[FAX] 0573-25-7270
[URL] <https://www.gifu-toyopet.jp/store/store52>

one more step



「ナカポツ」、 「精神ワーカー」 をご存じですか？

「ナカポツ」は正式名称を「障害者就業・生活支援センター」といい、県内には各圏域に1カ所、岐阜圏域には2カ所の計6カ所があります。（岐阜圏域：岐阜ナカポツ、清流ふなぶせ、西濃圏域：西濃ナカポツ、中濃圏域：ひまわりの丘、東濃圏域：サテライト、飛騨圏域：ぶりずむ）

障がい者と企業をつなぐ役割を担っています。障がい者の働きたい希望を実現するための相談だけでなく、障がい特性を踏まえた雇用管理に関する企業さんへの助言、そして関係機関との連絡調整などを行っています。

職員は就業支援員、生活支援員、発達障がい者支援コンシェルジュ、雇用拡大支援員、そして精神障がい者就労支援ワーカー（精神ワーカー）が配置されています。

精神ワーカーは他の障がい者に比べ、障がいの理解がされにくい精神障がい者が安定して働けるよう企業さんからの相談にも応じています。

また、「清流ふなぶせ」には基幹精神ワーカーが配置され、精神ワーカーの連絡調整や精神障がいをテーマにしたセミナーなどの企画・開催などを担当しています。また、基幹精神ワーカーのもう一つの役割として、精神障がい者の雇用に関するより困難な処遇事例のご相談や、一般職員の中で発生する精神保健に関連する相談も受けていますので、お困りの時はご一報ください。



岐阜県障がい者総合就労支援センター

〒502-8503 岐阜市学園町2丁目33番地
[TEL] 058-201-4510 [FAX] 058-231-3760



社会福祉法人ふなぶせ 清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ

（岐阜県障がい者総合就労支援センター内）
[TEL] 058-215-8248 [FAX] 058-215-8029

